

埼玉県立がんセンター消防用設備等点検業務特記仕様書

1 業務の場所

埼玉県北足立郡伊奈町小室780番地及び818番地

2 業務の範囲

埼玉県立がんセンター病院棟、附属棟、研究棟、医師公舎、第1職員公舎、第2職員公舎、第3職員公舎、保育園

3 実施基準

- (1) 業務の実施にあたっては、消防用設備等の点検基準及び消防用設備等点検結果報告書に添付する点検表の様式など関係法令に基づいて行うものとする。
- (2) 各点検については、有資格者が行うこと。
- (3) 点検の実施に際しては点検効率ではなく、病院のすべての機能及び公舎の住人に配慮すること。細心の注意を払って実施すること。
- (4) 病院棟の点検は、原則として休診日に、また保育園は休園日に実施すること。

4 対象設備及び器具

消防用設備等内訳(別紙)のとおり。

5 定期点検・故障機器交換

(1) 消防法第17条の三の三に基づく点検

外観・機能点検	年1回
---------	-----

外観・機能・総合点検	年1回
------------	-----

(2) 建築基準法第12条に基づく点検

外観・機能点検	年1回
---------	-----

(3) 故障した煙感知器の交換	10個まで
-----------------	-------

6 定期点検以外の措置(消防法第17条)

受注者は、発注者からの要請があったときは、ただちに技術員を派遣し、監督員の指示に従い必要な点検、修繕等を行うものとする。

7 防災管理点検報告・防火対象物定期点検報告

3の点検結果は速やかに、各法令で指定する様式で報告書を作成、提出すること。

8 消防用設備内訳報告

受注者は消防用設備等内訳(別紙)の書式を参考にして、発注者の指示に従い建物別消防用設備内訳を報告すること。

9 がんセンター及び消防機関への報告(消防法第17条の三の三)

定期点検の監督員への報告は点検日報・月報にて行う。

消防設備の不具合報告は点検後、書面にて速やかに行うこと。

報告書(消防機関等に報告できる様式)は、まとめて半期に一度必ず提出すること。

関係法令に定める消防機関等への報告は、受注者が代行するものとする。

10 守秘義務

作業員は、職務上知り得た発注者の秘密について、他に漏らしてはならない。

11 負担区分

(1)業務に必要な機材、消耗品及び用紙類は、受注者の負担とする。

(2)発注者が年2回実施する総合防災訓練及び、年1回実施する職員公舎防災訓練(消火訓練等を含む)に必要な機材類の準備及び立合い・後片づけに必要十分な人員を派遣し、これに係る費用は受注者の負担とする。

(3)動作等不具合箇所の修繕のため使用した軽微な部品及び工費は、受注者の負担とする。

12 定めのない事項

この仕様書は、消防用設備等点検業務の概要を示すものであって、ここに記載されていない細部の事項については、発注者と受注者が協議して決定する。